

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	高齢による変化しやすい利用者様に対するケアの変化は、時として職員主体のケアとして変化し、そのことに気付けない場合がある。法人の基本理念及び施設のスローガンを元に、職員の思いの詰まった言葉で理念を構築し、悩んだり迷ったりした時に自身が振り返ることのできる事業所としての理念を作りたい。	職員全員で理念を構築し、その理念を通して自らを振り返り、利用者様主体のケアを職員が統一して出来る事業所になる。	「自分がしたい介護」と題して、全職員一人10個以上、自分の思いのままの言葉を募る。その言葉を集結し、理念を構築する。	2ヶ月
2	10	ご家族様の面会時や電話において、利用者様の生活ぶりや健康状態について報告させて頂いていましたが、それは一方通行のものであり、事業所側から利用者様やご家族様の意見や要望を引き出すための積極的な取り組みや機会を設けていない。	ご家族様が気軽に意見や要望を伝えることが出来る関係を築き、利用者様とご家族様との架け橋になる。	利用者様の様子が分かる写真を添付し、体調や生活状況等を記載した手紙を定期的に送付する。又、運営推進委員会や1回/月開催されるモニタリングやサービス担当者会議の開催日をお知らせし、ご意見ご要望を伺える機会を設けながら気軽に何でも言ってくれる関係に繋げていく。お誕生日会や外出等の行事予定をお知らせし、出来るだけ多くのご家族様に参加して頂けるよう呼び掛ける。	6ヶ月
3	23	日々の暮らしの中で利用者様やご家族様から知り得た様々な情報をケースファイルや申し送りノートに記してはいるが、一目で分かるような書式がないため、職員間でしっかりと共有できていない。	利用者様やご家族様の思いや暮らし方の希望等の把握に努め、スタッフ間で情報を共有化する。	利用者様やご家族様から知り得た思いや暮らしの希望を随時記録する書面を作成し、スタッフ間で共有する。	3ヶ月
4	40	以前、早出職員が昼食を、遅出職員が夕食を利用者様と一緒に食べていたが、職員側から休憩時間にならないとの苦情があり、現在は一緒に食事を摂ることが殆どない。	職員は利用者様と一緒に食事を食べることで、充実したコミュニケーションの場を設けることが出来る。	フロア会議において休憩時間の見直しを行い、利用者様と職員が互いに食事を楽しむ時間を設ける。	1ヶ月
5	2	当施設は充分地域の一員となれていない。利用者様にとって地域の方の来訪があったり、地域の馴染みの場所やくつろげる場所に出掛ける、あるいは地域に新しい友人ができることは大事なことです。地域との交流をさらに深めたい。	地域の取り組みに参加したり、地域の皆様に施設に招待をすることで地域との交流を深める。また、地域の福祉委員や他の福祉関係者と共に、介護や福祉、健康や医療について一緒に考えたり勉強したりできる機会をつくる。	地域の福祉委員会の皆さん、福祉にかかわる団体個人、行政関係者の皆さんと連絡調整を取りながら勉強会に取り組む。地域の行事、イベントに利用者様と共に参加していく。施設の取り組みに地域の皆さんを招待する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。